

白山市学童野球連盟大会要綱

大会運営細則 白山市学童野球連盟

- 1) 「2025」年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（学童部）に関する事項」を適用し、一部連盟ルールを採用する。
 - 2) 監督、コーチはチームと同一のユニフォームを着用し背番号は、選手は0番から99番までとし、監督は30番、コーチは29、28番とし、主将は10番とする。
ジュニア監督は60番を使用してもかまわない。
 - 3) ベンチ入り出来る大人は、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、代表者又は引率責任者1名、救護員1名、給水係1名合計7名迄とする。監督・コーチ以外はユニフォームを着用しなくてもよい。
 - 4) 選手は、試合開始30分前に集合し、監督と主将は、メンバー表4通（本部1通原本）、球審1通、相手チーム1通、自チーム控1通）を持って大会本部に集まる。試合開始時刻になっても連絡がないチームは、棄権とみなします。
 - 5) 攻守の決定は（攻守の決定はジャンケンで行う）、その試合の担当球審の立会いの下、執り行う。球審が何らかの都合でない場合、大会本部がこれの代理をする事ができる。（球審は、時刻に遅れないよう注意する。遅れる場合は大会本部に連絡をする）
 - 6) 試合は、6回戦とし勝敗が決定しない場合は特別ルールを1回行いその後は抽選方式を適用する。ただし、決勝戦は勝敗が決まるまで特別ルールにて行う。
試合は6回戦であるが、5回を終了した場合又1時間30分経過後、均等回終了をもってゲームが成立したものとする。
尚、ゲームが成立した場合、その打者の打撃を完了して試合を終了とする。
- ☆ 特別ルール（プレーオフ）
両チームとも無死1塁、2塁とし、打順は前回の継続打順とする。
この場合において、走者は当該打順直前の2人を2塁及び1塁に着かせるが、代走・代打を送ってもよい。
投手・野手を交代させても何ら差し支えない。
ただし、一度出場した選手は出られない。

★抽選方式

試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行う。

審判部（又は運営部）は、○印し及び×印しの抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先攻チームより交互に1枚ずつ選ばせる。

- 7) 3回15点差、4回10点差、5回7点差によりコールドゲームを適用する（決勝戦共）
- 8) 降雨にて、5回を終了していない場合、もしくは1時間30分を経過しない場合、ノーゲームとするが、5回終了もしくは1時間30分が経過している場合、降雨コールドゲームとする。ただし6回に入り試合の継続が無理な場合は、均等回の得点をもって勝敗を決める。降雨による中断は試合時間に含まない。
- 9) 第3位決定戦は、行わない。
- 10) ベンチは抽選番号の若い方が1塁側とする。
- 11) ゲーム中の抗議、選手交代は監督が当事者とする。
- 12) 打者、次打者、走者、ランナーコーチは、ヘルメットを必ず着用しなければならない。又、捕手は（控えの捕手も含めて）ヘルメット・プロテクター・レガース・カップサポーターを着用すること（シートノック、又はブルペンでの投球時も着用する）。しゃがんでボールを受ける場合は、マスクを必ず着用する。
 - ① ブルペンでのキャッチボール、投球練習は各チーム1組に制限する。
 - ② ベンチ前での素振りは、当該打者とネクストバッターのみとする。
 - ③ 監督以外の代表者、コーチ、スコアラーがベンチを出ての指導はできない。
 - ④ 予備のキャッチャーが確保できない場合は代理を認める。（ベンチ入指導者可）
 - ⑤ 小学校が試合会場の場合、ベンチ、応援席の境界ラインをはっきりさせること。
 - ⑥ 会場敷地内は禁煙です、各会場指定された場所にて喫煙すること。
- 13) 試合中のリストバンドを禁止する。ただし、何らかの事情で使用したい場合は、審判・もしくは、大会本部に申し出ること。

手袋は認めるが白もしくは黒を着用する。又サングラスの使用を認める。
- 14) 抽選会は監督と主将（着帽）の2名で参加すること。

監督が出席できない時は必ず代理者（代表者又はコーチ）をたてること。

代理出席の事前連絡がない場合は棄権とみなす。又、大会提出書類に不備及び遅刻した場合も同様とする。

出場チームは、学校行事等で不都合がある場合、抽選会1週間前までに事務局に報告しなければならない。

- 15) 選手宣誓は、大会抽選会時において、予備抽選1番クジを引いたチームとする。

- 16) チーム紹介などのアナウンスは、各チームで行う。選手の呼称は「さん」と呼ぶ
- 17) 金属バット（木製も含む）は連盟公認のものであること。
落雷、雷雨等の危険を察知した場合、試合を中断、もしくは様子を見ること。
- 18) 各試合の選手の変更、及び背番号の変更がある場合、試合前に申し出ること。
- 19) シートノックは各チーム当日の1試合目前に1回、後攻より5分間とする。
- 20) グラウンド整備は、当該試合の両チームで行うこと。
- 21) 投手は、1日70球7イニングを超えて投球してはならない。1イニングス制を適用する
ただし、特別延長戦の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで
投げることができる。
- 22) 役員及び運営委員は、責任を持って大会運営にあたること。
- 23) 試合中、ベンチ及びベンチに指定された場所にての飲食・喫煙は禁止する。
- 24) 登録された監督以外の関係者が、公式戦においてチームの指揮をとる場合、指導者登録
用紙に記入されている者が指揮を取る。この場合、前日までに連盟関係者へ申し出る。
- 25) 試合中、選手に事故が発生した場合直ちに治療を行うこと。但し、治療時間は試合時間
に含まないこととする。
- 26) BSOは3塁側、得点板、ボールボーイは1塁側の選手がなるべく行ってください。
審判の給水は1塁側チームは1塁塁審・2塁塁審、3塁側チームは球審・3塁塁審にて
行う、試合開始前に何回に行うか球審に確認すること。
- 27) 大会本部が決めた試合のみ、クーリングタイムを設ける
2・4・6回（6回はタイブレーク試合のみ）の裏の攻守が終了した時点から5分間と
する。又攻撃時間が15分を超えた時点で、当該打者の攻撃が終了した時点から計測す
る。試合経過時間は時間を止めて計測する（延べ時間で計測しない）
終了開始の定義は審判がアウトの3アウトのコール時点から15分経過して
試合開始のアナウンスを掛ける。
クーリングタイムと15分経過が同時に起こった場合は、連続してクーリングタイムを
設けない場合がある。

28) 指名打者の取り扱いについて

2024年競技者必携に掲載される「指名打者の取り扱いについて」の項（一部加工あり）

指名打者の取り扱いについて 5.11(a)(b)

連盟が主催する大会においては、指名打者ルールを使用することができる。

ただし、学童部・少年部は二刀流選手を採用しない。

(1) 指名打者ルールは、次のとおりである。5.11(a)

- ① チームは、投手に代わって打つ打者(指名打者)を指名することができる。
- ② 試合開始前に交換された打順表に記載された指名打者は、相手チームの先発投手に対して少なくとも1度は、打撃を完了しなければ交代できない。ただし、その先発投手が交代したときは、その必要はない。
- ③ **チームは必ずしも指名打者を指名しなくてもよいが、試合前に指名しなかったときは、その試合で指名打者を使うことはできない。**
- ④ 指名打者に代えて代打者を使ってもよい。その代打者は以後指名打者となる。退いた指名打者は、再び試合に出場できない。
- ⑤ 指名打者が守備についてもよいが、自分の番のところで打撃を続けなければならない。投手は退いた守備者の打撃順を受け継ぐ。ただし、2人以上の交代が行なわれたときは、監督が打撃順を指名しなければならない。
- ⑥ 指名打者に代えて代走者を使ってもよい。その代走者は以後指名打者となる。指名打者が代走者になることはできない。ただし、臨時代走者になることはできる。
- ⑦ 指名打者は、打順表の中でその番が固定されており、多様な交代によって打撃の順番を変えることはできない。

(2) 指名打者の役割が消滅する場合は、次のとおりである。5.11(a)

- ① 投手が他の守備位置についた場合。
- ② 代打者または代走者が試合に出場し、そのまま投手となった場合。
- ③ 投手が指名打者の代打者または代走者になった場合。
- ④ 打順表に10人のプレーヤーを記載したが、指名打者が特定されておらず、試合開始後にその誤りが球審に指摘され、投手が打撃順に入った場合は、投手が置きかわったプレーヤーは交代したとみなされ、試合から除き、それ以後指名打者の役割は消滅する。
- ⑤ 指名打者が守備位置についた場合。
- ⑥ 他の守備位置についていたプレーヤーが投手になった場合。

【※以下は、学童・少年の大会においては採用しない。】

(3) 二刀流選手の規定は、次のとおりである。5.11(b)

- ① チームは、先発投手を指名打者に指名することができる。(このプレーヤーを、以下「二刀流選手」という。)
- ② 先発投手、指名打者として両方で試合に出場する場合は、別々の選手として扱う。
- ③ 監督は、打順表に10人のプレーヤーを記載し、一つは先発投手として、もう一つは指名打者として2度、同じ名前を記載する。
- ④ 二刀流選手は投手を退いても、指名打者としては出場し続けることはできるが、再び投手として出場することはできない。
- ⑤ 二刀流選手は指名打者を退いても、投手として出場し続けることはできるが、再び打者として打席に立つことはできない。
- ⑥ 二刀流選手が両方同時に交代する場合には、他の二刀流選手との交代は認められない。
- ⑦ 二刀流選手の規定を採用するかは、最初の打順表で記載するときのみである。
- ⑧ 二刀流選手が投手として降板し、投手以外の守備位置に移った場合には、それ以後指名打者の役割は消滅する。

（試合上の注意）

- ① 各回の先頭打者、及びランナーはミーティングに参加しないで、直ちに定位置に着くこと。
- ② バット、ヘルメット、ボールなどグラウンド内に置かぬこと。
- ③ 野手は、走者に対して、どの塁にかかわらず、一角をあけること。
- ④ 内野手の転送球は、これを禁止する。
- ⑤ 指導者が学童に対する暴力的行為は許されない。
- ⑥ 大会主旨を十分に理解し、目にあまる行為があった場合は、審判部、運営委員、理事会が協議して、それ相当のペナルティーを課すものとする。
- ⑦ 本部席において先攻後攻を決めるので、時間に遅れないよう両チーム
主将と監督は本部席にメンバー表（フルネームで記入したものを4部）を持って集まる。
（大会運営細則 4）・5）の厳守
- ⑧ 予備キャッチャー及びブルペンキャッチャーのコーチ補球を認める、但しマスクを着用すること

（各チームへの注意事項）

- ① 駐車場は各会場のルールに必ず従って下さい。（モラルですから、必ず守ってください）
- ② 試合会場の準備、後片付け等は、指示が無くても積極的に手伝うこと。
- ③ 試合中における選手、又は審判員に対する観客からの好ましくない野次、抗議は厳禁します。
- ④ 球場への移動及び試合中（付き添いの幼児）の事故には充分注意してください。
（大会本部で、責任はもてません）
- ⑤ たばこは、所定の場所以外では喫煙しないこと。
（白山市の小学校では、敷地内は禁煙です）
- ⑥ グラウンド周辺での飲酒は厳禁です。（子供達と一緒にあって、応援して下さい）
- ⑦ 選手及びチーム関係者は、「ゴミ」を自宅に持ち帰って下さい。
- ⑧ 試合後、忘れ物の無い様確認して帰宅して下さい。

改定履歴（公認野球規則の年度変更は改定に含まない）

平成17年	5月	制定	初版
平成21年	3月	改定	第1版
平成23年	3月	改定	第2版
平成23年	6月	改定	第3版
平成25年	4月	改定	第4版
平成26年	3月	改定	第5版
平成27年	3月	改定	第6版
平成27年	6月	改定	第7版
平成29年	3月	改定	第8版
平成30年	3月	改定	第9版
2019年	3月	改定	第10版
2019年	6月	改定	第11版
2019年	7月	改定	第11.1版
2020年	3月	改定	第12版
2022年	3月	改定	第13版
2023年	3月	改定	第14版
2024年	3月	改定	第15版